

52th



川越市立霞ヶ関東小学校だより

たいよう

第2号 令和8年4月30日(木)

学校教育目標

- 【た】 たくましい子
- 【い】 生き生きと活動する子
- 【よ】 よく考える子
- 【う】 美しい心の子

命の尊さに思いを寄せて

校長 関根 努

新緑がまぶしく、風の心地よい季節となりました。子どもたちも新しい学年や学級に少しずつ慣れ、笑顔で過ごす姿が多く見られるようになってきました。

さて、今月は「命」について、私自身の体験を通して考えてみたいと思います。

私は、4年前に父を亡くしました。父は、病気で入退院を繰り返していましたが、それでもどこかで「まだ大丈夫だろう」と思っていた自分がいました。これまで当たり前のようにそこにいて、何気ない会話を交わっていた存在が、ある日を境にいなくなる。その現実を受け止めるまでに、長い時間がかかりました。

父は優しく、ゴルフが大好きでした。いつか一緒にコースを回ってみたい、そんな思いを抱いていましたが、その願いは叶わないままとなりました。「また今度」「そのうちに」と思っていたことが、二度とできないことになる。そのことを、私は身をもって知りました。

そのとき強く感じたことは、「命には限りがある」ということ、そして「人に優しくすることは、今しかできない」ということです。

私たちは日々、多くの人と関わって生活しています。家族、友達、先生、地域の方々。その一人一人に、それぞれ大切な命があり、かけがえのない時間を生きています。だからこそ、何気ない一言や行動が、とても大きな意味をもつのだと思います。

「ありがとう」と伝えること。「大丈夫？」と声をかけること。相手の気持ちを考えて行動すること。どれも特別なことではありませんが、こうした積み重ねが、人と人とのつながりを温かいものにしていきます。

子どもたちには、自分の命を大切にするとともに、周りの人の命や気持ちも大切にできる人に育ってほしいと願っています。そして教職員一同、その姿を日々の教育活動の中で丁寧に育んでいきたいと考えています。

命は一つしかありません。そして、その命に関わる時間も限りがあります。だからこそ、「今」を大切に、「人に優しく」あることを、学校全体で大切にしていきたいと思います。

ご家庭におかれましても、この機会に「命」や「優しさ」について、お子さんと話題にいただければ幸いです。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



4月21日(火) 1年生を迎える会 朝の短い時間でしたが、心温まる会になりました。